

# Funehiki High School News vol.87

## ◆デュアル実習 I 前期が終了

地元の企業のご協力をいただいて職業体験する「デュアル実習」の2年生前期が終了しました。実習を終えた生徒たちの反省の一部を、実習風景を交えて紹介します。なお、3年生の実習は年度末まで通年で行っています。

○実習前と実習後で変わったと思うことは、あいさつです。実習の最初の方は、あまり大きな声であいさつすることができなかつたのですが、実習の回数を重ねるごとに、あいさつの声の大きさが変わりました。(郡司将希)

○始まる前はあまり周りが見えていなかったと思っています。自分のことしか考えなくて、自分勝手な行動をとっていたかもしれません。前期の実習が終わって、周りの状況や今何が起きているのか、自分は今何ができるのか、少しずつ頭で整理しながら行動できるようになったと思います。(新開優太)



## ◆新生徒会役員が決定

9月19日に生徒会役員の改選が行われ、以下の10人の皆さんが新役員として任命されました。



役職名	学年	氏名	出身中学校
会長	2	三浦 早人	移中
副会長	2	今野 明音	岩代中
副会長	1	吉田 公幸	船引中
書記	2	桑原 壘	船引南中
書記	1	穴戸 善樹	西田中
会計	2	渡邊 千晴	要田中
会計	1	渡邊 翔太	常葉中
会計監査	1	安瀬 光基	船引中
会計監査	1	菅野 勝貴	船引中
会計監査	1	根本 大輝	三春中

## ◆喫煙防止キャンペーン・自転車ツーロック呼びかけ運動

9月25日(木)の登校時、生徒会役員は田村たばこ販売組合の方々と一緒にティッシュを配りながら未成年者の喫煙防止を呼びかけました。翌日26日(金)には、生徒代表のサイクルガードリーダーたちが、田村警察署と地域安全ボランティアの皆様のご協力の下、自転車の盗難防止運動を行いました。



## ◆PTA奉仕作業を実施

9月13日(土)に、後期PTA奉仕作業が行われました。午前7時半から約1時間、約70人の保護者、そして部活動の生徒と職員により、除草や石拾いなどが行われました。早朝から多くの方々のご協力をいただき、学校環境を整備していただきました。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...[school@funehiki-h.fks.ed.jp](mailto:school@funehiki-h.fks.ed.jp)



毎日私は  
「KY(空気が読めない)」です

Omar Horner IV  
オマー・ホーナー四世さん  
(アメリカ合衆国  
テキサス州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	17

私は日本に住んでいるアメリカ人として、毎日「KY(空気が読めない)」です。成田空港に着いてから今まで、日本の「空気を読む」方法をよく学んでいません。

実際のところ、この機会を借りて一緒に働いている教職員の方、特に校長先生と教頭先生に、私がいつも「KY」であることをおわびしたいと思います。皆さんはとても理解があり、辛抱強く私に接してくださっています。

今回は集団主義と個人主義社会の文化の違いについて書かせていただきました。日本のような集団主義文化の国では個人よりも集団に価値が置かれます。アメリカ合衆国のような個人主義文化の国では集団よりも個人に価値が置かれます。私が個人主義文化の国の出身であるという事実が、おそらく私が「KY」である理由ではないでしょうか。私たちの個人主義文化では、自分自身の感情や気持ちが他の人たちのものよりも重要であると考えられているので、アメリカ人は日本人のように「空気を読む」という心の空間について教えられていません。そのことが乗り物の中などで、なぜ欧米人の声が大きいかを説明してくれるでしょう。私たちは周囲の人たちが静かであることに気付かないだけなのです。

このような考え方は私たちの言葉についても説明してくれます。英語は、話し手が多くの単語を使って話の内容を十分に伝えなければならないロー・コンテキストな言語であるのに対して、日本語は聞き手の方が話の中で、話し手が話さない空間(空気)を読まなければならないハイ・コンテキストな言語だと考えられています。



※コンテキストとは…「文章の前後のつながり」のこと。

**ハイ・コンテキストな言語**：聞き手は、話し手が使う用語の前後関係や文脈から意味を解釈し理解しなければならない。日本語は、話し手の状況や感情、文脈を理解することが聞き手に求められているので、英語の場合のように主語や形容詞を頻繁に使わない。

**ロー・コンテキストな言語**：英語の文章は意味や内容を詳細に説明するため長いことが多く、多くの形容詞を使う。日本語とは違い、主語がいつも多く使われる。

中国語や日本語のようなハイ・コンテキストな言語の使用者は、話があまりに直接的であるため、ロー・コンテキストな言語の話し手を率直すぎると感じる場合があります。その一方で、アメリカ人やドイツ人のようにロー・コンテキストな言語の使用者は、ハイ・コンテキストな言語の話し手の内容が明確ではないと感じます。

興味深い事に、アメリカに帰国した多くの英語教師たちが帰国後に逆のカルチャーショックを受け、「アメリカでは誰も空気を読まない」と不満を言います。私たち来日した欧米人は「KY」ですが、日本で生活している間はお互いに少し空気を読むことを学び合っているようです。